

食品ロスゼロが実現した世界

世界で1年間に生産される食料のおよそ1/3になる約13億トンが捨てられている「現在」。
もし食品ロスがゼロになったら、どんな「未来」が待っているのでしょうか。
一緒に想像してみましょう。

温室効果ガスの 排出量が減る！

人に消費されない食品のために、年間約36億トンの二酸化炭素などの温室効果ガスが発生しています。食品ロスが減らすことができれば、温室効果ガスもその分減らせます。

減らせる温室効果ガス量 /

約**36**億トン*

*二酸化炭素換算

もっと深掘り

約36億トンという量は、日本のすべての森林（約2700万ha）が15年かけて吸収する二酸化炭素量とほぼ同じです。

水資源の 無駄が減る！

食品を作るために、生産や製造の場では多くの水が使われています。世界で廃棄されている食品に使われている水の量は年間約250km³で、琵琶湖の水の約9倍の量になります。

減らせる水の量 /

約**250**km³

必要な人に 食料が届けられる

世界の10人に1人、約7.7億人が飢えに苦しんでいるといわれています。捨てられている分の食料を必要な人たちに届けられたら、飢えや栄養不足に苦しむ人を減らせるはずですよ。

影響する飢餓人口 /

約**7.7**億人

もっと深掘り

家庭で使いきれない食品は、地域やお店で行われるフードドライブに寄付すれば、必要な人に届けることができます。

無駄な出費が減り、 家計が助かる！

日本では家計の支出のうち、食品が消費支出の1/4以上を占めています。4人家族の世帯では、年間約6万円分の食品が捨てられているというデータも。捨てる食品が減れば、その分食費も減らせます。

減らせる食費 /

約**6**万円

